資料　6

意見交換「親支援を考える～新しい生活様式の中、地域でどう支えるか～」

昨年度 2 回目の運営協議会から、関係機関との連携ネットワークがどのようになっているのか、評価すること、またどの問題に取り組むべきかターゲットを絞ることが提案された。

また、意見交換の際には、今の子どもたち、母親たちの姿が話され、人とのつながりを作れない、つながることを必要としない人たちが増えてきていることが意見として出された。

以上のことから

キーワード「コミュニケーション」

取り組みの方向性として

① 困った時に SOS が出せる人づくり

② 地域の中で、地域の人と一緒に子どもを育てる、地域づくり。

今年度、母子保健型として妊娠期から切れ目がないかどうか見直し、母子コーディネーターを専任 2 名、兼任 1 名の体制とし、母子保健事業に母子コーディネーター（母子保健型）が入り、妊娠期からつながる、つなぐ関係づくりをしていくことができるよう取り組んでいる。(資料７参照)

新型コロナウイルスの感染予防のため、人と人のふれあいが制限されている中、乳幼児期の子ども、その保護者への関わりや支援について、各機関で取り組みを紹介していただきながら、これから地域にどんなことができるか委員の方々の意見が頂きたいと考える。